

教科名	英語	週時間数	4	学年	1年
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 NEW HORIZON 1 (東京書籍)</li> <li>・副教材 ジョイフルワーク (新学社) 英語ニュースタディノート1 (教育同人社) 学習の達成 (新学社)</li> </ul>				

教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を話したり書けたりするようになるための基礎を固める。</li> <li>・単語や文法を定着させ英語の表現力を身につける。</li> <li>・ペアワークやグループワークを通して、問題解決能力を伸ばし、相手のことを考えてコミュニケーションをとる姿勢を育てる。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワーク、アクティビティを行う。</li> <li>・小学校で学んだ内容を含めて英語の基礎を固める。</li> <li>・音読、スピーチなどの表現活動を通じて、英語を「使える言語」として捉えさせる。</li> <li>・ALT によるアクティビティやテスト、単元の評価を行う。</li> </ul>		
定期考査	出題方針	授業内容を中心に観点別に出題する。	
	範囲 (予定)	1学期中間	Unit0/ Unit1 / Unit2
		1学期期末	Grammar for Communication1 / Unit3 / Grammar for Communication2
		2学期中間	Unit4 / Grammar for Communication3/ Unit5/ Stage Activity1
		2学期期末	Small tal!1 / Unit6/ Let's talk 1 / Grammar for Communication4/ Unit7/ Let's talk 2
		学年末	Unit8/ Let's Write 1 / Grammar for Communication4/1年間のまとめ
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ペアワーク・グループワークへの取り組み、提出物、課題への取り組み、自主学習の成果	
思考力・判断力・表現力	定期テスト、英作文、リスニングテスト、スピーチ等		
知識・技能	定期テスト、単元テスト、単語テスト等		
学習方法 (先生からの アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的、積極的な学習姿勢が大事です。具体的には、次の授業のためのノートづくり(予習)、授業があった日の復習(宿題を含む)、授業への積極的参加、課題提出の徹底などをしっかりと習慣化すれば着実に実力はついていきます。しっかりと実践しましょう。とくに、英語は声に出して発音練習をすることはとても大切です。書く勉強だけではなく、声に出して覚えることにも慣れていきましょう。</li> </ul>		

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	Unit 0 Unit 1 Unit 2	・場面の表現・英語の音と文字 ・be 動詞・一般動詞の肯定文 ・be 動詞・一般動詞の肯定文 ・can の文	◎小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。 ◎自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。
	5	Grammar for Communication 1 Unit 3 Grammar for Communication 2 Unit 4	・疑問詞を使った疑問文 ・単語のつづりと発音①  ・I want to ….	◎身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 ◎いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。
	6	Grammar for Communication 3 Unit 5 Stage Activity 1	・命令文  ・前置詞 ・like ~ing / enjoy ~ing	◎相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 ◎行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 ◎自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。
	7			
2	9	Small Talk! 1 Unit 6	・三人称単数現在形 (肯定文・否定文・疑問文)	◎自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。
	10	Let's Talk 1 Grammar for Communication 4 Unit 7	・Can I~? / Can you ~? ・人称代名詞(目的格)	◎身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ◎自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。
	11	Let's Talk 2 Let's Listen 1	・What's wrong? I have …. ・人称代名詞	◎相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。 ◎人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。 ◎今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。
	12	Grammar for Communication 5 Unit 8 Let's Write 1 Grammar for Communication 6 Unit 9 Let's Talk 3	・現在進行形 (肯定文・疑問文) ・感嘆文 ・want [try, need など] to ・look+形容詞	◎目的に合わせたカードを書くことができる。 ◎したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 ◎徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 ◎友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。 ◎好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。
		Let's Listen 2 Stage Activity 2 Let's Read 1	・I'm looking for …. — Go along this street. Turn left at …. ・助動詞	◎図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。
3	1	Small Talk! 2 Unit 10	・一般動詞の過去形 (肯定文・否定文・疑問文) ・規則変化動詞の過去形 ・不規則変化動詞の過去形	◎過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ◎旅先からの絵はがきを書くことができる。
	2	Let's Write 2 Unit 11 Let's Talk 4 Let's Listen 3	・There is [are] …. ・過去進行形 ・be 動詞の過去形	◎過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ◎レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。
	3	Grammar for Communication 7 Stage Activity 3 Let's Read 2	・What would you like? — I'd like …. Would you like …? — Yes, please. [No, thank you.]	◎休暇の思い出など日常的な話を聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 ◎思い出に残った学校行事について発表することができる。 ◎物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。